

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月29日更新

事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 米澤伸仁				
	施策	16 高齢者の自立と社会参加の促進	所属課	高齢者支援課	担当者名 樋口良平				
施策の柱	47	高齢者の社会参加の促進	所属班	包括支援センター班	(内線) 2143				
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	介護保険法	成果優先度評価結果	：
	介護	11	1	2	10438 他			コスト削減優先度評価結果	：
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市が社会福祉協議会に委託して実施している事業で、年間を通じて木工、陶芸、男の料理等の教室を開催している。材料費等は必要に応じて参加者より徴収している。国の地域支援事業(交付金事業)のメニュー事業の一つである。平成12年度より、旧西合志町で国の補助事業として開始した。閉じこもりがちな高齢者が新たな趣味に興味を持っていただくことにより、生きがいをもち、自立した生活ができるよう開始した。福祉施設で開催することで施設の社会化を促す。事業開始当初は認知度が低かったため、参加者が少なかったが年々増加傾向にある。
【業務の流れ】	委託契約事務・委託事業実績報告確認事務・委託料支払い事務・交付金実績報告事務・交付金清算事務。
【主な予算費目】	委託料。
【意見や要望】	マンツーマンの指導で解りやすい。次回も参加したい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	各種教室等を実施した。委託料1,120,391円。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		各種教室等の実施。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 教室の開催数		事業統合による減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	一般高齢者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 介護認定を受けていない高齢者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	高齢者の生きがいと社会参画を促進する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 教室に参加した延べ人数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
意図の高齢者の生きがいと社会参画を促進するためには、教室に参加してもらうことが必要なので参加した人数とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 回		6	8	8	6				
② 対象指標	ア 人		9,642	10,387	10,000	11,035				
③ 成果指標	ア 人		772	857	880	418				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円			560	280			
		都道府県支出金	千円			280	140			
		地方債	千円							
		その他	千円			1,122	560			
		繰入金	千円			280				
	(A) 事業費計	一般財源	千円				141			
		(A) 事業費計	千円	0	0	2,242	1,121			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正職員従事人数	人	3	0	4	1			
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	100	0	120	100				
	(B) 人件費計	千円	398	0	478	371				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	398	0	2,720	1,492				

事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 教室開催数、参加者数は目標を達成した。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 教室開催数、参加者数は目標達成見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業内容を見直し、参加者の意見を取り入れるなど、工夫をすることにより、成果は向上すると思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 高齢者のみを対象としているが、生涯学習課で同様の事業を開催しており他の事業と連携が可能である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在教室を開催している場所が社会福祉施設を利用しているため、施設使用料を払っているの、使用料のかからない場所を確保すれば削減できる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託で行っており、事業にかかる最低限の経費を計上している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 旧西合志町だけで行っていたこともあり、事業の周知できていないため一部の人に偏っている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 委託で事業を実施しているが、事業参加者が自主的なサークルとして移行させる手段も考えられる。

3 評価結果の総括 (CHECK)

参加者からは、次回も参加したいとの声があがっている。広報等で広く募集を行っているが、旧西合志町だけで行っていたこともあり、参加者が一部の人に偏っているという問題がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					